

=====

としまコミュニティ大学ニュース

(2021.5.25 発行)

=====

としまコミュニティ大学の講座は、9月から開催予定です。

コロナ禍が続いていますが、「学びの歩みは止めない」を合言葉に、学びの場を創り出していきます。

としまコミュニティ大学のマナビト向けのゼミも9月からの開講予定です。

今年度の佐藤ゼミのご紹介を少し。

佐藤ゼミの講師は、佐藤壮広氏。

大学の特任准教授で人類学者、書評家でもある佐藤先生の授業は、本を読んで終わりの読書から自分が豊かに変わる読書へとさらなる進化を目指しています。

今年のテキストは、『文豪たちのスペイン風邪』（解説：紅野謙介・金貴粉 皓星社）。

1918～1920年に世界中で流行したスペイン風邪を題材に、文豪たちが日本でも大流行したスペイン風邪との戦いを書いています。

今の新型コロナウイルスと同じパンデミックが起きた時代。

菊池 寛は『マスク』の中で、スペイン風邪にかかることを極端に恐れていたことを書いています。

「自分は極力外出しないようにした。妻も女中も成るべく外出させないようにした。止むを得ない用事で、外出するときには、ガーゼを沢山詰めたマスクを掛けた。」

この本の表紙の写真も、マスクをして登校する着物姿の日本の女子生徒たち。全員がマスク

をしています。

「一般の人々が感染予防のためにマスクを付ける契機となったのは、このスペイン風邪の流行からという。」巻末の解説「病気と社会-文豪たちの言葉をてがかりに-」に書かれています。

緊急事態宣言が延長されている中、不要不急の外出を自粛していることや、マスクをして予防をしていることも、今も 100 年前と同じですね。

志賀直哉は「3密回避」をしています。

「町の医者が、近く催される小学校の運動会に佐枝子を連れて来る事を妻に勧めていた。然しその頃は流行性の感冒がはやり出して居たから、私は運動会へは誰もやらぬ事にした。」

「女中を町に使にやるような場合にも私達は愚図愚図店先で話し込んだりせぬようにと喧しくいった。」

「事実をありのままに書いた」という『流行感冒』は、1919年の志賀直哉の短編小説です。

家族や女中に強いた「3密回避」の徹底は、これもまた今の対策と同じです。

与謝野晶子の家族も、一人の子の感染から次々と家族に感染。

「政府はなぜ逸早くこの危険を防止する為に、大呉服店、学校、興行物、大工場、大展覧会等、多くの人間の密集する場所の一時的休業を命じなかったのでしょうか。」

1989年に発表された『感冒の床から』で、人が多く集まる場所へ一時的な休業を命じなかった政府への批判をした与謝野晶子。

新型コロナウイルスが流行している現在とこれもまた同じです。

他にも、谷崎潤一郎、永井荷風などの文豪たちの作品が掲載されています。

猛威を振るうウイルスに、文豪たちの書き残した教えを読み解き、そこから何を学ぶかを考える授業です。

オトナの国語の時間は、文豪たちの姿から 100 年前と今のパンデミックを対比し、生きることを一緒に考えていきます。

次回の発行は、2021 年 6 月 25 日です。

発行：豊島区 学習・スポーツ課 生涯学習グループ

<http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/shogai/kyodokoza/index.html>

としまコミュニティ大学事務局

住所：〒171-8422 豊島区南池袋 2 丁目 45 番 1 号

電話:03-4566-2762（平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分）

ファクス:03-3981-1577

E メール: A0014606@city.toshima.lg.jp

■後援事業のお問い合わせは、主催者へ。

■豊島区内で開催されている講座の情報は「講座ほっとニュース」で！

としまコミュニティ大学ニュースとあわせて登録してみたいでしょうか。

登録は「豊島区ホームページ」からどうぞ。

※メールの配信停止を希望される方は、豊島区公式ホームページの「メールマガジン配信停止」から配信停止の手続きを行ってください。

アドレス：<https://www.city.toshima.lg.jp/kuse/koho/007058/033605.html>

Copyright(C) 豊島区 All right reserved

掲載記事の無断転載を固く禁じます。
